

♡ 社会調査の基礎 (第36回社会福祉士国家試験問題) ♡

問題 84 次のうち、統計法における基幹統計調査として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会福祉施設等調査
- 2 福祉行政報告例
- 3 介護サービス施設・事業所調査
- 4 労働安全衛生調査
- 5 国民生活基礎調査

問題 85 社会調査における倫理に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会調査の対象者の抽出では、住民基本台帳から制約なく個人情報閲覧できる。
- 2 調査の協力は自由意志であるので、対象者への調査に関する説明は不要である。
- 3 社会調査では、対象者に調査協力の謝礼を渡すことが不可欠である。
- 4 調査前に対象者の協力同意書があっても、調査の途中又は調査後の対象者からのデータ削除要請に応じることが求められる。
- 5 仮説に反した調査結果が出た場合、調査結果の公表を差し控える必要がある。

問題 86 次の事例を読んで、S県が実施した標本調査の母集団として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

S県内の高校に在籍している全ての生徒のうち、日常的に家族の世話や介護等を担っている高校生が、どのくらい存在するかを調べるために標本調査を実施した。

- 1 全国の高校に在籍する全生徒
- 2 全国の高校に在籍する全生徒のうち、日常的に家族の世話や介護等を担っている者
- 3 S県内の高校に在籍する全生徒
- 4 S県内の高校に在籍する全生徒のうち、日常的に家族の世話や介護等を担っている者
- 5 S県内の高校に在籍する全生徒のうち、標本となった者

問題 87 次のうち、質問への回答を他計式で記入する社会調査として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 郵送調査
- 2 留置調査
- 3 個別面接調査
- 4 集合調査
- 5 オペレーターによる電話調査

問題 88 尺度に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 比例尺度では、平均値を算出することができる。
- 2 順序尺度で測定した 1 と 2 の差と、3 と 4 の差の等間隔性は担保されている。
- 3 名義尺度で測定した変数は、中央値を求めることができる。
- 4 間隔尺度では、測定値の間隔が数値として意味をもつことはない。
- 5 名義尺度、間隔尺度、順序尺度、比例尺度の順で、尺度としての水準が高い。

問題 89 調査手法としての面接法に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 構造化面接では、対象者に語りたいことを自由に話してもらうことが重要である。
- 2 非構造化面接では、調査者は事前に 10 項目以上の質問項目と質問の順番を設定し、その順番どおりに質問していく必要がある。
- 3 半構造化面接では、インタビューのおおむね半分程度の時間を、質問内容や質問の順番などが詳細に決められた質問紙によって面接が進められる。
- 4 面接調査では、表情や身振りといった非言語表現も重視する。
- 5 グループ・インタビューの調査者は、対象者同士の会話を促さないようにする。

問題 90 社会調査における記録の方法とデータ収集法に関する次の記述のうち、適切なものを 2 つ選びなさい。

- 1 質的調査で対象者を選定するときには、無作為抽出法を行うことが不可欠である。
- 2 アクションリサーチでは、量的調査でデータを収集することがある。
- 3 ドキュメント分析の対象となるデータには、手紙や日記などの私的文章も含まれる。
- 4 質的調査のデータとしては、画像や映像の使用を避ける方が望ましい。
- 5 フィールドノーツは、調査者の解釈を含めずに作成する必要がある。

♡ 社会調査の基礎 (第35回社会福祉士国家試験問題) ♡

問題 84 社会調査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会調査は、個人ではなく、組織や機関が実施するものである。
- 2 社会調査は、市場調査や世論調査を含まず、行政調査と学術調査を指している。
- 3 国勢調査の対象者は、日本に居住する日本国籍をもつ人に限定されている。
- 4 社会問題の解決のために実施する調査は、社会踏査(social survey)と呼ばれる。
- 5 社会調査の分析対象は、数量的データに限定されている。

問題 85 統計法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 行政機関の長は、一定の要件を満たす学術研究に対して調査票情報を提供することができる。
- 2 行政機関の長は、基幹統計調査のデータを加工して、匿名データを自由に作成できる。
- 3 個人情報の秘密漏えいに関する罰則は定められていない。
- 4 厚生労働省が実施する社会福祉施設等調査は、基幹統計調査である。
- 5 一般統計調査には、基幹統計調査も含まれる。

問題 86 標本調査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 標本調査では、非標本誤差は生じない。
- 2 標本抽出には、性別や年齢といった母集団の特性を基準にする抽出法がある。
- 3 標準誤差は、質問の意味の取り違い、回答忘れなど、回答者に起因する。
- 4 系統抽出法では、抽出台帳に規則性がない場合、標本に偏りが生じる。
- 5 確率抽出法では、標本誤差は生じない。

問題 87 社会調査における測定と尺度に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 信頼性とは、測定しようとする概念をどのくらい正確に把握できているかを意味する。
- 2 妥当性とは、同じ調査を再度行ったときに、どのくらい類似した結果を得ているかを意味する。
- 3 順序尺度では、大小や優劣を測定できる。
- 4 間隔尺度の例として、身長や体重がある。
- 5 比例尺度の方が、間隔尺度よりも情報量が多い。

問題 88 質問紙を作成する際の留意点に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 回答者の理解を促進するため、ワーディングはできるだけ多くの専門用語を用いることが望ましい。
- 2 回答者の回答を容易にするため、一つの質問に複数の論点を含む質問文を作成することが望ましい。
- 3 配布した質問紙の回収後の集計作業を効率的に行うため、自由回答法を多く用いることが望ましい。
- 4 選択枝法を用いる場合は、想定される回答を網羅するため、選択枝の内容が相互に重複していることが望ましい。
- 5 作成した質問紙の構成や内容が適切かを検討するため、プリテストを実施することが望ましい。

問題 89 参与観察に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 調査中に対象者が意識しないように、調査終了後に観察していたことを伝える。
- 2 観察の記録は、現地で見聞きしたことについて、網羅的に記すことが原則である。
- 3 観察を通して現地で得た聞き取りの録音データの文字起こし作業に当たっては、録音データの中から調査者が気になった部分や必要だと思う部分を抽出し、要約する作業を最初に行う。
- 4 現地で記録したメモは、できるだけ早く観察ノートに記録する。
- 5 観察ノートを整理する際は、調査者の感想を記さないように留意する。

問題 90 Q市社会福祉協議会では、地域の潜在的な福祉ニーズを探索するため、地域住民向けのワークショップを開催した。参加者が、KJ法を参考に意見を整理することとした。

次の記述のうち、参加者が行う意見整理の進め方として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 参加者は、一つのカードに様々な自分の意見をできるだけ多く書き出す。
- 2 提出したカードを並べた後、全体を眺めながら内容が類似しているものをグループとしてまとめる。
- 3 グループ化する際は、カードが1枚だけで残ることがないように、いずれかのグループに割り当てる。
- 4 各々のグループに名前を付ける際には、福祉に関する専門用語を用いなければならない。
- 5 グループに名前を付けた後、グループ間の相互関係を検討し、図解する。

♡ 社会調査の基礎 (第34回社会福祉士国家試験問題) ♡

問題 84 社会調査の倫理や個人情報保護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 施設職員を調査対象者にして、福祉サービスの一般的な苦情対応に関する調査を実施する際に、施設職員は調査に協力する義務があると依頼状に明記した。
- 2 調査者が、研究目的で住民基本台帳から作成した調査対象者の住所リストを、調査終了後に自分の主催する介護予防啓発イベントの案内状の郵送に利用した。
- 3 質問紙調査の回答の仕方から分からない箇所があるので教えて欲しいという調査対象者からの問合せに、調査対象者全体への公平性に欠けるため説明を控えた。
- 4 面接調査の音声データから記録を作成する際、調査対象者の名前や面接の中で出てきた人名を、アルファベット順に記号化した。
- 5 面接調査終了後、調査対象者1名から協力辞退の申出があったため、その調査対象者のデータについて年齢と所属を書き換えてから分析に利用した。

問題 85 横断調査と縦断調査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 同一の調査票を使って、昨年はN県、今年はP県で量的調査を実施することは、パネル調査に当たる。
- 2 横断調査と縦断調査の違いは、調査地域の広さや調査対象者数などといった調査の規模が異なることによる。
- 3 パネル調査では、調査を重ねるごとに調査対象者が増加する傾向がある。
- 4 出生時期を同じくする集団を調査対象にして、複数の時期に調査を行うことは、縦断調査に含まれる。
- 5 縦断調査のデータ分析は、横断調査に比べて、二つの変数間で原因と結果という因果関係を推論することには適していない。

問題 86 質問紙調査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 インターネット調査は、自計式であるため、調査コストを抑えることができる。
- 2 留置調査は、他計式であるため、調査対象者以外の者が回答することを回避できる。
- 3 郵送調査は、他計式であるため、調査対象者の匿名性が確保されにくい。
- 4 電話調査は、自計式であるため、質問数が多い調査に向いている。
- 5 訪問面接調査は、自計式であるため、調査者の態度が調査対象者の回答に与える影響を抑制できる。

問題 87 調査票の回収後の手続に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 1問も回答されていない状態の調査票であっても、有効回答に含める。
- 2 調査票の数が非常に多い場合、個別の調査票ごとの誤記入や回答漏れの確認は必ずしも必要ではない。
- 3 自由回答のデータ化では、事前に用意したコード表に該当するものがない場合、新たにコードを追加することはできない。
- 4 調査票の中に、それまでの回答から判断して回答が矛盾していると明確に確認できる箇所があっても、調査者は修正を加えることはできない。
- 5 データ分析をする前に、データに人力の誤り等が含まれていないかを確認するため、予備的に集計しチェックする必要がある。

問題 88 事例を読んで、集計結果に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

〔事例〕

X デイサービスでは、本日 9 名の参加者が来所して交流を行い、心身機能の維持のための活動を行った。参加者は、男性が 65 歳、68 歳、72 歳の 3 名であり、女性が 65 歳、65 歳、66 歳、67 歳、70 歳、77 歳の 6 名である。

- 1 参加者全体の年齢の中央値は 65 である。
- 2 男性参加者の年齢の分散は、女性参加者の年齢の分散より大きい。
- 3 男性参加者と女性参加者の年齢の最小値は異なる。
- 4 女性参加者の年齢の最頻値は 77 である。
- 5 参加者全体の年齢の範囲は 12 である。

問題 89 調査手法としての観察法に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 マジックミラー(ワンウェイミラー)を使った観察を行ってはならない。
- 2 調査者が、調査対象とする集団や地域社会に入り込み、人々と活動や生活を共にしながら、データ収集をすることもある。
- 3 実験室のような人工的な環境を作り、その中を観察して調査することはしない。
- 4 調査対象者の生活に関わる日記や写真を質的データとして扱うことはない。
- 5 客観的データを収集するためには、調査者は調査対象者とオーバーラップになる必要がある。

問題 90 調査手法としての面接法に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 面接調査の質問項目が構造化されているほど、調査者に高度な面接能力が必要とされる。
- 2 グループ・インタビューでは、調査対象者同士が相互に影響を与えることを防ぐために、調査者は一人ずつの調査対象者に対して順に質問し回答を得る。
- 3 半構造化面接では質問項目を事前に用意し、いつ、どの順番で質問を行うかを面接中に調査者が判断する。
- 4 非構造化面接では、予想される調査対象者の回答を「イエス」「ノー」で記入できるシートを作成する。
- 5 録音データを分析する場合は、調査者が面接中に最も重要と判断した部分を要約して逐語記録を作成する。